

上田市生涯学習基本構想

基本構想の期間

この基本構想が対象とする期間は、総合計画との整合も図り、平成 20 年度を初年度とし、8 年間（平成 27 年度まで）としました。

なお、策定後の諸情勢や、施策の進捗状況を踏まえて、見直しを検討することとしています。

生涯学習の定義

生涯学習とは、私たちが生きがいのある充実した生活を送るために、自分が学びたいことを、自分にあった手段や方法を自ら選んで、「いつでも、どこでも、だれでも」自由に、楽しく、生涯にわたって学んでいくことです。

また、学校や社会の中で意図的、組織的に行なわれる学習活動だけではなく、自らが行なう学習のほか、スポーツ活動、文化活動、趣味やレクリエーション、ボランティア活動など幅広い活動の中で行なわれるものです。

推進のねらい

地域社会には、環境保全、福祉や介護、少子高齢化、家庭や地域、教育など、多岐にわたる課題があります。一人ひとりが主体的に課題に取り組み、地域社会の活動に参加したとき、はじめて解決が可能になります。生涯学習は、一人ひとりが行動する力を育むことによって、互いに認め合い、共に生き、一人ひとりの権利や命を大切にする地域社会の形成につなげていく学びとして推進していくことをねらいとしています。

学習を必要とするさまざまな要因

新しい学習課題への対応

人権尊重意識の高揚
男女共同参画社会の形成
自然との共生
環境問題への取り組み
情報技術の活用
まちづくりの学び

教育環境の変化と創造

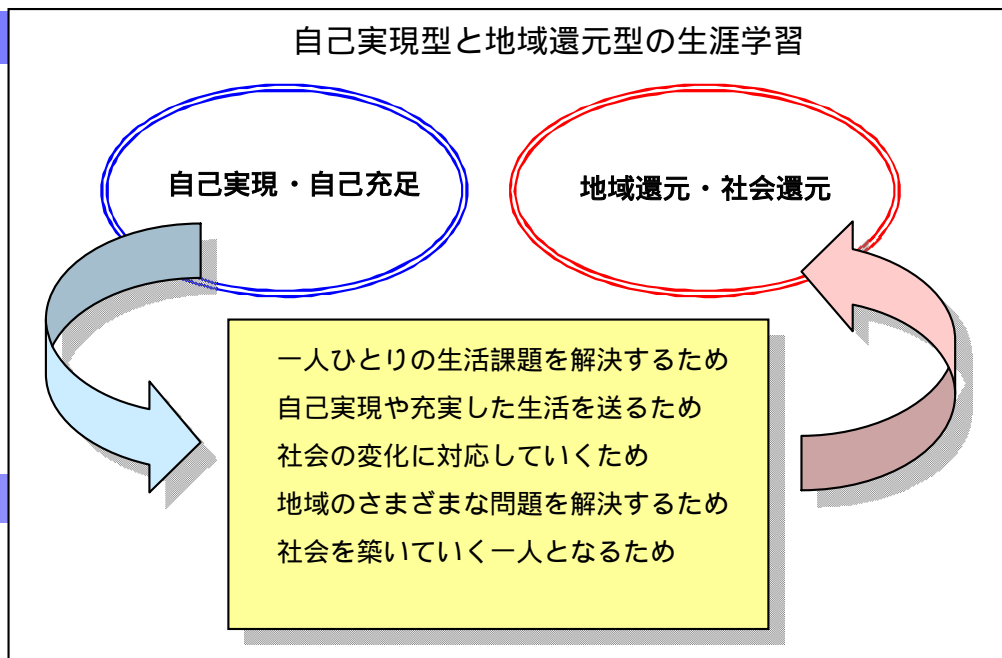
自己教育力の向上
家庭・地域の教育力の向上
健康の増進
文化芸術の振興
スポーツ・レクリエーションの振興

時代やライフスタイルの変化

余暇利用の多様化
高齢化社会の到来
国際化の進展
情報化の進展
産業・経済の変化

生涯学習の意義と必要性

生涯学習を通じて、だれもが自ら学びたいことを自由に学び続けることができる「人づくり」を進めるとともに、その成果を地域社会の中で生かしていくことができる仕組みをつくっていくことが、活力ある市民主導のまち「上田市」をつくるためにも意義のあることです。このため、自己実現型と地域還元型の生涯学習をつなげていくことが期待されます。



基本構想における生涯学習の範囲

生涯学習は、人生のあらゆる時期、あらゆる機会を通じて、幅の広い領域で行なわれており、その内容は多岐に渡っています。つまり、家庭・学校・職場・地域社会で行われるすべての学習が生涯学習の範囲ととらえることができます。

